

Vol. **47**
November
2024

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）



表紙：東ティモール アタウロ島

Topics

スリランカからJDS運営委員会メンバー2名が来日しました

◆ 活躍するJDS留学生（フィリピン・ベトナム・ラオス）

◆ ほっとひと息：スリランカ



スリランカからJDS運営委員会メンバー2名が来日しました

2024年5月11日～18日までの1週間、JDS事業のモニタリングのため、スリランカから2名の運営委員会メンバー（財務・経済安定・国家政策省对外援助局長（当時※） Mr. Ajith Abeysekera、公務員委員会副次官 Ms. Thanuja Murugeson）が来日し、受入大学、外務省及びJICA本部等を訪問して意見交換を行いました。

※2024年9月の大統領選挙後から省庁改編のために、現在は財務・経済開発・政策立案・計画・観光省。同局長は11月からDeputy Secretary to the Treasuryへ昇格。

受入大学である明治大学、国際基督教大学、名古屋大学を訪問した際には、JDSをより良いプログラムにするために、受入大学の教員や職員と活発な意見交換を行いました。スリランカ側からは、現在スリランカは経済危機に直面しており、経済分野において意思決定ができる人材を必要としている点、債務履行のために長期的に持続可能な財政制度が必要不可欠である点等が言及され、今後、経済の回復と国の成長のために、実践的な知識を備えた人材の育成が必要となる点等の説明がありました。



明治大学博物館前にて、JDS留学生と共に

外務省を表敬訪問した際には、二国間の人的交流の更なる促進についての意見交換を行いました。外務省審議官からは、2024年3月に設立されたJDS帰国留学生の同窓会組織について、帰国留学生がお互いに繋がることのできるプラットフォームができたことを歓迎するとともに、同窓会やJDSのイベントを通じて両国の交流が更に深まることを期待する旨言及がありました。

在京スリランカ大使館を表敬し、駐日スリランカ大使と面談をした際には、Mr. Ajith Abeysekeraから、2010年にスリランカからのJDS留学生の受入れが開始され、15年間で200名以上の留学生が来日しており、スリランカ政府内で人気が高い留学プログラムである点が述べられました。また、駐日スリランカ大使から、JDSを含む留学プログラムで日本に留学したりJENESYS（外務省の対日理解促進交流プログラム）を通じて来日した経験を持つスリランカ人が母国で活躍している点や、これらのプログラムを通じてスリランカに必要な分野の知識や経験を習得できることは同国の人材育成にとって非常に重要であると言及されました。

今回の訪日で得られた知見とネットワークが、今後のスリランカにおけるJDS事業の円滑な運営に反映されることが期待されます。

特集：活躍するJDS留学生 (フィリピン・ベトナム・ラオス)

Ms. Magistrado Jocel Libutan(マギストラッド・ジョセル・リブタン氏)
立教大学大学院経営学研究科、2024年修了、フィリピン、公共事業道路省



ジョセルさん(左)と片岡教授

2024年9月19日に実施された立教大学の学位授与式でJDSフィリピン留学生のジョセルさんが、Best in Master Thesis Presentation賞を受賞しました。彼女は2022年8月にJDS留学生として来日し、立教大学の国際経営専攻公共経営学コースで、フィリピンの公共事業・高速道路省におけるワーク・ライフ・バランス実現のための施策の有効性について研究を行ってきました。また、2023年12月に実施されたJICAネットワーキングセミナーでは、JDS留学生の代表として研究発表を行いました。

Ms. Pham Thi Phuong (ファム・ティ・フオン氏)
名古屋大学大学院法学研究科、2024年修了、ベトナム、司法省

2024年9月27日、JDSベトナム留学生のフオンさんが、名古屋大学ユス・コムーネ賞にて優秀賞を受賞しました。同賞は、学生の研究を奨励・支援し、アジアの将来を担う法律家育成をより一層推進することを目的に、優れた修士論文を執筆した学生を顕彰する賞です。フオンさんはベトナム市民の権利保護のための法整備について修士論文を執筆しました。帰国後は、所属先の司法省にてさらなる活躍が期待されています。



フオンさん

Mr. Phomvisith Ouanh (ポムウィシット・ウアン氏)
北海道大学大学院環境科学院、2024年修了、ラオス、農林省



ウアンさん

2024年7月12日-18日にオーストラリアのメルボルンにて開催されたアジア・大洋州畜産学会議及びオーストラリア畜産学会の合同国際会議にて、JDSラオス留学生のウアンさんが、ポスター賞を受賞しました。同会議は、オーストラリアおよびアジア地域から畜産学分野の優秀な人材が集まり、畜産学分野における近年の発展や研究結果について議論することを目的としています。ウアンさんは、母牛の低栄養状態が仔牛の胸腺に与える諸影響についてポスターを作成しました。



スリランカは、南アジアのインド亜大陸の南東にポーク海峡を隔てて位置し、インド洋の真珠とも言われる緑豊かな国です。面積は北海道の約8割で、主要産業は農業と繊維業、紅茶の生産が盛んです。今回はスリランカから、おすすめのおやつや軽食をご紹介します。

【Green Porridge (グリーン・ポリッジ)】



出典: pixabay.com

生米やココナツミルク、青葉の絞り汁、沢山のスパイスやハーブのエキスを作られます。インド・スリランカの伝統医学(アーユルヴェーダ)の食べ物です。スリランカでは早朝に飲まれており、みなさんは、グリーン・ポリッジを飲んで一日がスタートするそうです。

【Pickles (ピクルス)】



出典: i-discoverasia.com

スリランカのピクルスには、野菜やフルーツで作ったものなど沢山の種類があります。フルーツピクルスは若い世代に人気で調理も簡単。熟したフルーツを細かく切り、赤唐辛子、塩少々、酢、胡椒、砂糖少々を加え、よく混ぜ合わせれば出来上がり…おいしそう!!

【Pol Roti (ポル・ロティ)】



出典: [Facebook Account of Otara Gunewardene](https://www.facebook.com/OtaraGunewardene)

簡単に作れる平たいパンです。小麦粉にココナツと塩を少々混ぜ、水を加えて生地を作り、薄く油を引いたフライパンで焼くだけ。朝食や夕食としてバター、ジャム、チリソース、ミートカレーなどにつけて食します。

【The High Tea style (ハイティー・スタイル)】



世界有数の紅茶生産国のスリランカではハイティーが楽しめます。イギリスの伝統的なアフタヌーンティーを起源とし、今ではスリランカだけでなく世界中で大人気! スリランカでは、レストラン、カフェ、ホテルなど様々な場所で楽しむことができます。

JDS 3つの特徴

1

行政官限定事業

※一部例外がございます

2

6,345名 23カ国の実績

※事業終了国の人数も含む ※2024年度までの人数

3

大臣・局長級を輩出

対応国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得しています

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

<JDS実施国 (JICE)> ※受入開始年順

ウズベキスタン、ラオス、カンボジア、ベトナム、モンゴル、
バングラデシュ、ミャンマー、フィリピン、キルギス、
タジキスタン、スリランカ、東ティモール、パキスタン、ブータン、
モルディブ、ケニア、セネガル、ウクライナ

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、
日本との政策対話に携わり二国間関係強化に寄与する等、
様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画 (JDS) は無償資金協力による
JICA留学生受入支援事業です。

編集後記

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

11月になり、ようやく秋らしくなり、冬が近く感じられるようになりました。今年8月に来日した留学生達は、生活基盤が整い、授業と課題の提出で忙しくなってきたところでは。

昨年来日した2年生は、卒業論文の仕上げに向けてデータ収集と分析に注力している時期です。

JDS事業では2025年度に留学する候補者の募集の真っ盛りです。11月号では成績優秀者を取り上げていますが、優秀な候補者が今年も応募してくれることを期待しています。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター (JICE)
留学生事業第一部留学生事業課広報担当
E-MAIL: jds.pr@jice.org